

平成16年度ビジョン委員会の取り組み

1 第2期神戸地域ビジョン委員会の活動

「楽しいまち・神戸」の実現に向け、「できるところからはじめましょう」と様々な取り組みを行ってきている神戸地域ビジョン委員会。

平成15年に、第1期委員会の任期満了を受け、市内各地で地域づくりの実践に取り組む115名の第2期ビジョン委員の活動が開始されました。平成16年度は、その第2期委員の活動の2年目にあたり、10のグループによって、より具体的にふみ込んだ活動が実施されました。

2 ビジョン実践活動

(1) グループ会合

第2期委員会では、10のグループに分かれ、それぞれが会合を持ちました。

「農都・神戸」では、神戸の直売所や市民農園などをマップにまとめる作業が行われ、また実際にそこを訪れるツアーを実施しました。

「六甲山」では、夢会議「六甲山の楽しみ発見」の企画、運営、実施について会合を重ね、現地の下見なども精力的に行いました。

「神戸経済の活性化」では、コミュニティビジネスを発掘する方策について検討しました。

「グローバルな魅力づくり」では、留学生と地域住民の交流についてアイデアを出しあい、交流会を実施しました。

「環境・循環型社会」では、家庭で出来る生ゴミ堆肥化について勉強会を開き、委員自らが堆肥化の実験を行いました。

「子育ての支援」では、インターネットで地域の子育て情報掲示板を開設したほか、外国の子育て事情を知る夢会議を開催しました。

「青少年育成」では、子どもの居場所作りプロジェクトとして、子どもの作品を募集する「ひかりの公募展」の開催に向け議論を重ねました。

「高齢者が高齢者のお世話をする」では、より効果的な介護方法の検討をテーマに、音楽療法や園芸療法について学びました。

「担い手の連携」では、地域づくりの様々な担い手たちが集まり、話しあう場を作ることについて情報を持ち寄りました。

「楽校ネットワーク」では、一芸を持つ委員たちが地域に出かけて「迷路の出前」「お手玉の出前」等の活動を行いました。

(2) 夢会議

地域ビジョン委員だけではなく、より多くの県民に参加していただき、知っていただくという目的で開催されたのが、神戸地域夢会議です。

夢会議は、青少年育成グループのプロデュースにより4月初頭に開催した「**夢** 子どもがつくる人・まち・こころ」を皮切りに、年間12回実施されました。

そのうち6月の「より神戸らしいKOBEBEづくり」、12月の「“楽しいまち・神戸”を創る」、2月の「“楽しいまち・神戸”を創る」の3回については、各グループが集まり、神戸地域の将来像について、県民の参加者もまじえてグループディスカッションを行いました。討議のあとは全員が集まり、討議結果を発表しあい、知事から総括のコメントをいただきました。

また、各グループによって独自に開催された夢会議には、「六甲山の楽しみ発見」(親子編、紅葉編、樹氷編の3回)、「高齢者のための音楽療法」「高齢者のための園芸療法」「留学生のための酒づくり体感ツアー」「日本と外国の子育て事情の違い」「環境・循環型ライフスタイルづくり」があります。

(3) 生ごみリサイクル実践活動報告書、六甲山マップ、農都マップ

グループ活動による成果物としては、環境・循環型社会グループの作成した「生ごみリサイクル実践活動報告書」があります。この冊子は、委員が各家庭に生ごみ堆肥化装置を置いて、実際に生ごみ堆肥づくりに取り組んだ結果やデータが掲載されています。また、「六甲山楽しみ発見マップ」「自然保護センター周辺散策マップ」「農都・神戸書き込みマップ」については、それぞれ新たな情報を掲載した修正版を発行しました。

3 神戸地域ビジョンネットワークによる連携・交流

平成13年度から発行された神戸地域ビジョンネットワーク情報誌「神戸ゆめネット」は、16年7月、10月、17年1月、3月に発行し、夢会議等県民行動プログラムに関する最新情報、委員等の所属団体の活動紹介、イベント情報など地域づくりの実践活動に取り組む団体・グループ・個人の連携・交流を進めてきています。

また、15年1月24日に開設されたWEB版ゆめネットでは、神戸地域ビジョン、県民行動プログラムなどの概要、PDFファイルによる情報誌「神戸ゆめネット」全容、各種イベント開催の情報などをインターネット上で提供しています。